

椎茸普及指導情報 第6号

しいたけ作業も一段落し、今が一年で一番ゆっくりできる??時期だと思われます。皆さん、いかがお過ごしでしょうか？。

1 平成19年次発生量等について

今年の春子の発生については、低温性品種を中心によくなかったことは前号(第5号)でお知らせしたとおりです。ほだ木づくりの重要性を思い知らされた気がします。中温性品種は比較的良かったとの声も聞きました。

2 活着・伸長状況について

国東方面においては、町小組合連合会主催の活着調査(入木コンクール)がはじまりました。現在終わったのは安岐だけですが、結果から見ると「昨年(H18 植菌分)ほどではないが、一昨年(H17 植菌分)よりは良く、3年前(H16 植菌分)に近い。」状況です。今後の他の地域の状況がある程度まとめ次第、次号でお知らせします。

人工ほだ場省力化実証事業
ほだ木が土と接触している部分の水
抜けが悪い気がします。目視で多く確
認された雑菌はスビクダ、カブダ等
でした(6/18時点)。



(上・中・下の状況)

輪切りにすると



(人工ほだ場状況)

~積極的なほだ木づくり~

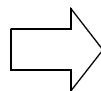
植菌後の活着・伸長にはほだ木への水分補給が重要です!!。
その様な中、人工ほだ場や遊休ハウスを利用し、散水による積極的なほだ木づくりを行われている方がいらっしゃいます。山で水をまくことは困難です。
原木を平地に下るすための機械導入、ほだ化を行うための簡易散水施設の導入をお考えの人がいれば、補助事業での対応も考えられますのでご相談下さい。

(イメージ)

原木 伐採

バックホ等で搬出

ほだ化施設でほだ化



3 大分しいたけ応援隊事業について



- ・規模拡大をお考えの方・・・
- ・緊急の労働不足の解消・・・

初年度となった昨年度は受入生産者5名に対し、14名の隊員となり隊員の数大幅に上回りました。研修後の雇用は全く無かったものから15日雇った人まで様々でした。

受入生産者と応援隊員のお互いのコミュニケーションが重要です。

なお、受入生産者の募集はOSK支部（中央・国東）から案内があると思いますので、それによって下さい。

～受入生産者アンケート結果～

- ×意見：「駒打6時間で2,500駒が精一杯でダメだ。」という能力不足に対する意見。
- 意見：「真面目に作業をしてくれた。今後も雇いたい。高齢者人手不足にはとてもよい。」

～応援隊員アンケート結果～

- ×意見：「現地が遠い。作業が大変だ。」「作業がきつい割には賃金が安いと思う。」という実際働いた感触とのギャップに対する意見等がありました。
- 意見：「生産者が頑張っている姿を見て元気をもらった。負けていけない。」という意見もありました。

4 流通改善・消費拡大について

5, 6月のポジティブリスト検査において、中国産乾しいたけから基準値を超える二酸化硫黄が検出されました。あらためて国産（大分産）乾しいたけの安全・安心がクローズアップ（見直され）されている気がします。特に昨年度導入した「乾しいたけトレーサビリティシステム」は安心・安全な大分産乾しいたけのトレードマークとしてもっとPRしていく必要性も感じます。

J A S表示調査も定期的の実施中

本年度も別府大学の栄養士を目指す学生向けの料理教室を実施予定です。
また、OSK国東婦人部の皆さん協力のもと高校生、小学生対象の料理教室も実施される予定です。

- トピックス -

農林水産大臣賞、林野庁長官賞受賞おめでとうございます

全国乾しいたけ品評会で当管内では国東市の小野三耶子さんが、同市で21年ぶりとなる農林水産大臣賞を受賞されました。更に、杵築市の阿部重信さん、国東市の竹中秀徳さんが林野庁長官賞を受賞されました。

また、東部地区の県品評会2等以上入賞点数が30点！！（昨年度18点）となんと対前年比167%にもなるすごい伸びになりました。

改めてブランド強化に対する管内生産者の皆様のご協力に感謝申し上げます。
来年も今年以上に受賞が増えることを期待しています。

- 椎茸のことなら何でもご相談ください ご相談窓口 -

大分県東部振興局生産流通部
野菜・椎茸班 担当 栗林（国東市エリア）
河野（別府市・杵築市・日出町エリア）
0978-72-1141 FAX0978-72-1242